情報学群実験第1最終レポート

1250373 溝口洸熙*

2022年7月28日

概要

目次

はじめに	2
仕様 1	3
1.1 処理概要	3
1.2 処理	4
仕様 2	5
2.1 処理概要	5
2.2 処理	6
仕様 3	7
ソースコード	8

^{*} 高知工科大学 情報学群 2 年生

はじめに

レポートについて

このレポートは、 $ext{IFT}_{ ext{EX}}$ 2_{ε} を用いて作成している。図やグラフは $ext{Ti}_k ext{Z}$ を用いて描画しており、ソースコードは listing を用いて表記している。

符号化と変数

あるパネルのステータスを示す符号と、新たに追加したグローバル変数を、以下に示す.

符号とステータス

新たに追加した変数

符号	ステータス	変数名	役割
0	爆弾以外	int originalTable	生成した盤面の初期状態を記憶する.
1	開かれたパネル		
-1	爆弾	Boolean tr	2手目以降で true になる変数.
-2	フラグが立っている		1 手目で爆弾に当たることを回避するため.

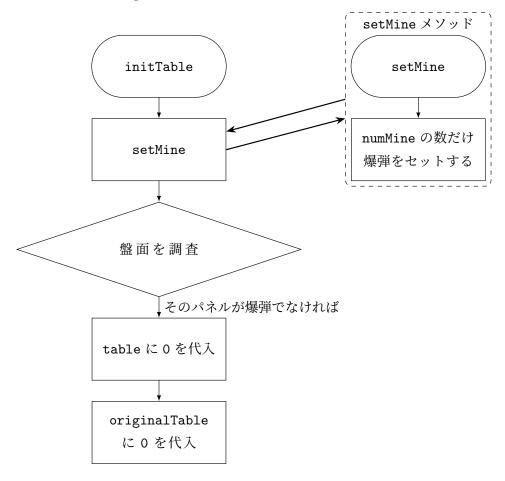
仕様 1

仕様 1.

ゲーム開始時に、盤面上ヘランダムに地雷を設置する.

1.1 処理概要

Fig 1.1: 盤面上ヘランダムに地雷を設置する



1.2 処理

initTable (src. 1)の処理

盤面を初期化するにあたって、以下の処理を行う.

- 1) 爆弾の設置パネルを setMine メソッドで定める.
- 2) table の全ての行と列に 0 を代入する. ただし, 爆弾であるパネルは上書きしない.

3) originalTable の全ての行に 0 を代入する. ただし, 爆弾であるパネルは上書きしない.

```
this.originalTable[x][y] = 0;
```

setMine (src. 2) の処理

盤面に爆弾を配置するにあたって、以下の処理を行う.

- 1) 爆弾の個数を数える count 変数を定義する.
- 2) 指定された爆弾の個数が count になるまで、爆弾を配置する.

```
while (count != this.numMine) {//
numMineの数だけ爆弾をセットできたらループを抜ける
...
}
```

3) 爆弾の配置はランダムである. 乱数で指定されたパネルが既に爆弾であれば再度乱数を生成し, 爆弾が新たにセットできる場所では, table, original Table の乱数値 Index を-1 に設定し, countをインクリメントする.

仕様 2

処理 2.

パネルを左クリックした際, クリックしたパネルを開く.

2.1 処理概要

Fig 2.2: タイルを開くときの処理 openTile Yes 1 手目で爆弾 setMineNo No そのパネルにフラグが立っている return; No gui.lose() Yes 爆弾を踏んだ の呼び出し 周辺の爆弾の個 数を数えて表示 開いたパネル を-1 に設定 No 全てのパネルが開いたか return; Yes gui.win() の呼び出し

2.2 処理

openTile (src. 3) の処理の一部

- 1) パネルに爆弾がない場合、その周辺の爆弾個数を returnMine メソッドで取得し、そのパネルに表示する.
- 2) 全てのパネルが開いたか否か確認する.

```
int mineCount = this.returnMine(x, y, gui);// 周辺の爆弾の個数を調査
this.table[x][y] = 1; // 開かれたパネルの値を1に設定
...

Boolean jud = true;

for (int i = 0; i < getHeight(); i++) {
    for (int j = 0; j < getWidth(); j++) {
        if (this.table[i][j] == 0) {
            // 開いていないパネルがある場合judの値をtrueにする
            jud = true;
            break;
        } else { jud = false; }
    }

    if (jud) { break;}

}
```

仕様 3

人 仕様 3.

ソースコード

src. 1: initTable

```
void initTable() {// 盤面を初期化する
1
2
     this.setMine();
      for (int x = 0; x < this.height; x++) {
3
4
        for (int y = 0; y < this.width; y++) {
            if (this.table[x][y] == -1) {// 爆弾がセットされている場所は避ける
5
6
              continue;
7
            }
8
            this.table[x][y] = 0; // 爆弾の場所以外は0で初期化
9
            this.originalTable[x][y] = 0;
        }
10
11
     }
12
  }
```

src. 2: setMine

```
void setMine() {// 爆弾をセット
1
2
    int count = 0;
3
    while (count != this.numMine) {
      // numMineの数だけ爆弾をセットできたらループを抜ける
4
      int x = new java.util.Random().nextInt(getHeight());
5
      int y = new java.util.Random().nextInt(getWidth());
6
7
      if (this.table[x][y] == -1) {
8
        // [x][y]にすでに爆弾がセットされていたら、もう一度乱数を決め直す
9
        continue;
10
      }
      this.table[x][y] = -1; // 爆弾の場所を値-1としてセットする
11
      this.originalTable[x][y] = -1;
12
13
      count++;
    }
14
15
  }
```

src. 3: openTile

```
public void openTile(int x, int y, MineSweeperGUI gui) {
1
2
      if (this.table[x][y] == 1 &&!this.tr) {// 1手目で爆弾ならば再度爆弾をセ
        ット
3
          this.setMine();
          this.openTile(x, y, gui);
4
5
      }
6
      this.tr = true;
      if (this.table[x][y] == -1) { // パネルに爆弾があった場合
7
8
          this.openAllTiles(gui); gui.lose();
9
      } else if (this.table[x][y] == -2) { return; } // パネルにフラグが立って
        いる場合
       else { // パネルに爆弾がなかった場合
10
```

```
11
              int mineCount = this.returnMine(x, y, gui);// 周辺の爆弾の個数を
12
              this.table[x][y] = 1; // 開かれたパネルの値を1に設定
              String mc = String.valueOf(mineCount);
13
              gui.setColorText(x, y, mineCount); gui.setTextToTile(x, y, mc);
14
15
              Boolean jud = true;
              for (int i = 0; i < getHeight(); i++) {// 爆弾以外のパネルが全て
16
                開いているか確認
                  for (int j = 0; j < getWidth(); j++) {</pre>
17
18
                     if (this.table[i][j] == 0) {
                         // 開いていないパネルがある場合 judの値をtrueにする
19
20
                         jud = true;
21
                         break;
22
                     } else { jud = false; }// 開いている場合falseにする
23
24
                  if (jud) { break; }
25
26
              if (!jud) { gui.win(); }
27
         }
28
      }
```